

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

コミュニティ スクール

C S 通信

NO. 33

2025年7月30日

発行：布水中学校運営協議会

布水中学校 校長 若狭朋幸

地域学校協働活動推進員 塚本茂樹

7月8日 「シェイクアウト訓練（石川県内で一斉に行われました）」

安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を実施することがなぜ大切なのでしょうか？いざという時にすばやく反応するためには頻繁に練習を積んでおくことが必要です。地震発生時、激しい揺れに襲われるまで、または何かが落下してくるまで、自分の身を守るために数秒の猶予しかないかもしれません。いざという時に備えておくためには日頃の訓練が必要不可欠だと思いました。

7月9日 「第2回 学校運営協議会」

新入生を迎える3か月ほどたつますが、子どもたちは落ち着いてきているという反面、慣れてきている部分も出てきているのかなという会長あいさつから始まりました。学校からは、「令和7年6月に改定された「布水中学校 いじめ防止基本方針」の説明。いじめ対策の取り組みについての報告をいただきました。学校公開については、グラウンドを駐車場として開放したため参加者が増えたとの報告をいただきました。

各委員からは、ICTは文房具となって活用されている。グループワークが多く、意見を集約するだけでなく対話も行われ、生の声も反映されている。音楽の授業もグループで練習している様子がよかったです。また、図書館司書の方と話をして利用生徒も多く、休み時間中に手続きをしていてチャイムが鳴るなど、大規模校ならではの悩みを聞かせていただき、これだけ図書館を活用できている学校は理想だと思いますとの感想も伺いました。また、部活動の地域移行（展開）についての質問があり、学校から現状を説明していただきました。

今後の活動についての協議では、学校で学んでいることが実際の社会で役立つていい事例を紹介する機会があれば、勉強の意欲が増すのではないかということで、企業人を招いての授業もあってもいいとの話題がありました。

その他として、市民活動団体の行事の紹介が行われ、協議会でも協力することになりました。（詳細は裏面）



主催：野々市市民カウンセラーの会「ほわっこ」後援：野々市市、野々市市教育委員会

ケーションがとれないことも解決するかもしれません。

ご興味のある方は、下記よりお申し込みください。

<https://forms.gle/dU52QHR8GRkSbcLe9>



会場は駐車場が少ないので、出来るだけ公共交通を利用するか、徒歩・自転車にてお越しください。

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

地域学校協働活動推進員 布水中学校担当の塙本 茂樹です。

この「CS通信」はコミュニティースクールとして、活動したことや活動していくことを含め私自身が中学校内で、感じたことを保護者や地域の皆様へ発信していきたいと思います。

もちろん、中学校という教育機関の中で起こることですので個人情報などには充分配慮し、学校長の許可を得たもののみを発信しています。

野々市市の自殺対策計画による児童・生徒に対するSOSの出し方に関する教育として「中学校でのSOSの出し方授業」では、できれば信頼できる大人3人以上に相談しようとお話をありました。しかし、いくら子どもたちの出し方が上手でも、受け方が悪ければ取りこぼしてしまいます。

野々市市の市民活動団体が、中学校で授業を行っている角田先生を講師に招き、夏休み最後の日曜日に、「SOSの受け方講座」が開催します。

子どもたちはすでに、微弱なSOSをだしているかもしれません。受け方を学ぶことで子どもに寄り添うことが出来、地域の大人として思春期の子どもたちと、うまくコミュニケーション

お問い合わせは

布水中学校運営協議会

地域学校協働活動推進員 塙本 茂樹

E-Mail :

fusuuityu_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp

まで、メールでお願いします。